

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表： 2023年 2月 20日

事業所名：わくわくジュニア（新越谷校）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	0	・感染対策として人数によるグループや場所わけを実施している	
	2	職員の配置数は適切である	8	0	0	・適切である	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	0	0	・段差がないようにしている	・肢体不自由児の利用は現状ない ・フラットな床とトイレは施工している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8	0	0	・会議や日々の打ち合わせと振り返りで意見を出し合っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	0	・評価表以外の独自アンケートも目的別に年に複数回実施している	・毎年実施したものは内容を確認し、改善に活かしている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	0	・ホームページで公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	0	8		・第三者評価は実施していない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	0	・年に2回以上機会を設けている	・必須の虐待防止研修以外にも、県の研修内容の共有等を積極的に実施しているため継続していく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	0	・利用前にアセスメントを行いニーズや課題を聞き取っている	・聞き取った内容を計画に反映させて作成を心がけており、今後も継続して実践していく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3	1		・今後アセスメントツールも取り入れて現状把握に役立てていく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	0	・会議や日々の話し合いの中で実践している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	0	・前年度と比較したり新しい取り組みを入れる等工夫している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	1	・長期休み中の課題を解決出来る活動を盛り込んだりしている	・長期休暇にはじっくり取り組める活動を計画出来るよう設定している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	2	1	・集団の中で身に付けていくことと個別の課題を活動に入れられるよう計画作成している	・集団の場に留まらないお子さんには個別対応も取り入れながら支援している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	0	・必ずミーティングを行いその中で決定している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	0	・日報にその日の様子や次回への改善点等記載し共有している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	0	・日報にその日の様子や次回への改善点等記載し共有している	・サービス提供票にも詳細を記録し、控えを検証して支援に役立てていくようにする
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	0	・日々のモニタリングを実施し、計画の更新を行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	1	0	・複数組み合わせで行っている	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	0	・児童発達支援 管理責任者が参加	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3	4	1	・保護者の希望を受けて情報共有を行ったケースもある	・送迎を行っていないため、なかなか学校へ 出向いたり情報共有出来る機会がないが 連携を図れるよう検討していく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	2	2	・現時点で対象となる 利用者なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	4	1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	5	1		・今まで該当する利用者はいなかったが、 今後希望があれば実施できるよう検討していく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1	0	・埼玉県研修会に 積極的に参加している	・巡回事業や助言事業の活用も引き続き 検討していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	2	6		・個人情報の観点等から積極的に実施していく 予定はない ・希望や必要に応じて検討していきたい
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	4	2	・市の連絡会に 参加している	・他事業所や地域との連携も図れるようにする
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	0	・連絡帳、電話連絡 等適宜使い分け 実施している	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	8	0	・コロナ禍等もあり 十分に実施はできて いない状況	・今後ペアレント・トレーニングを実施できるよう スタッフのスキルアップを目指していく
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	0	・契約時に行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	0	・随時対応している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	0	0	・わくわくカフェ、懇談会 保護者セミナーの実施	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	0	・意見に耳を傾け 善処出来るよう備えている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	0	・教室だよりやブログ の更新	
	35	個人情報に十分注意している	8	0	0	・十分注意して 取り扱っている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	0	・絵カード等も使用し 配慮と工夫している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4	4		・コロナ禍で難しい面もあるが、今後検討していきたい

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	0	0	・マニュアルは策定されスタッフへ周知している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	0	・年3回以上の訓練を実施している	・災害の種類別で訓練が実施出来ているので継続させていきたい
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	0	・年に1回以上研修を実施している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	2	0		・虐待研修を開催し、基本的に身体拘束を行わないことの徹底をしている ・必要なお子さんがいた場合には、組織内で議論し決定後計画書への反映も行った上で共有をする
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2	0	・保護者から聞き取りを行っている	・保護者からの申告によりアレルギーの把握をし、別のおやつの提供等の対応を実施していく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	0	・事例を記録し、共有と保管をしている	